

長期留置カテーテルのトラブルに対して 入れ替える前にやっていること

池田バスキュラーアクセス透析内科

安田 透、 池田 潔

COI 開示

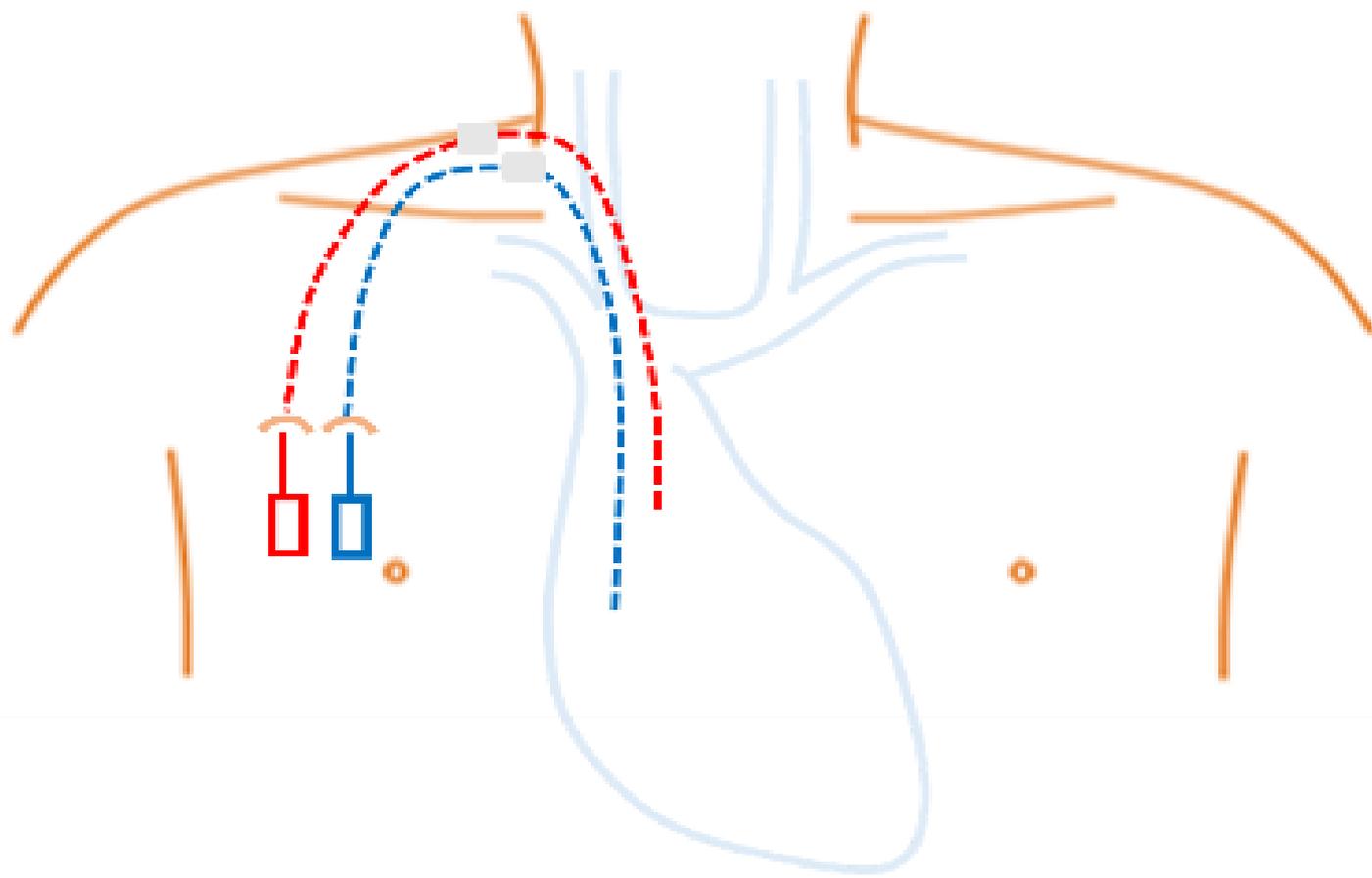
発表者名：安田 透

**発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。**

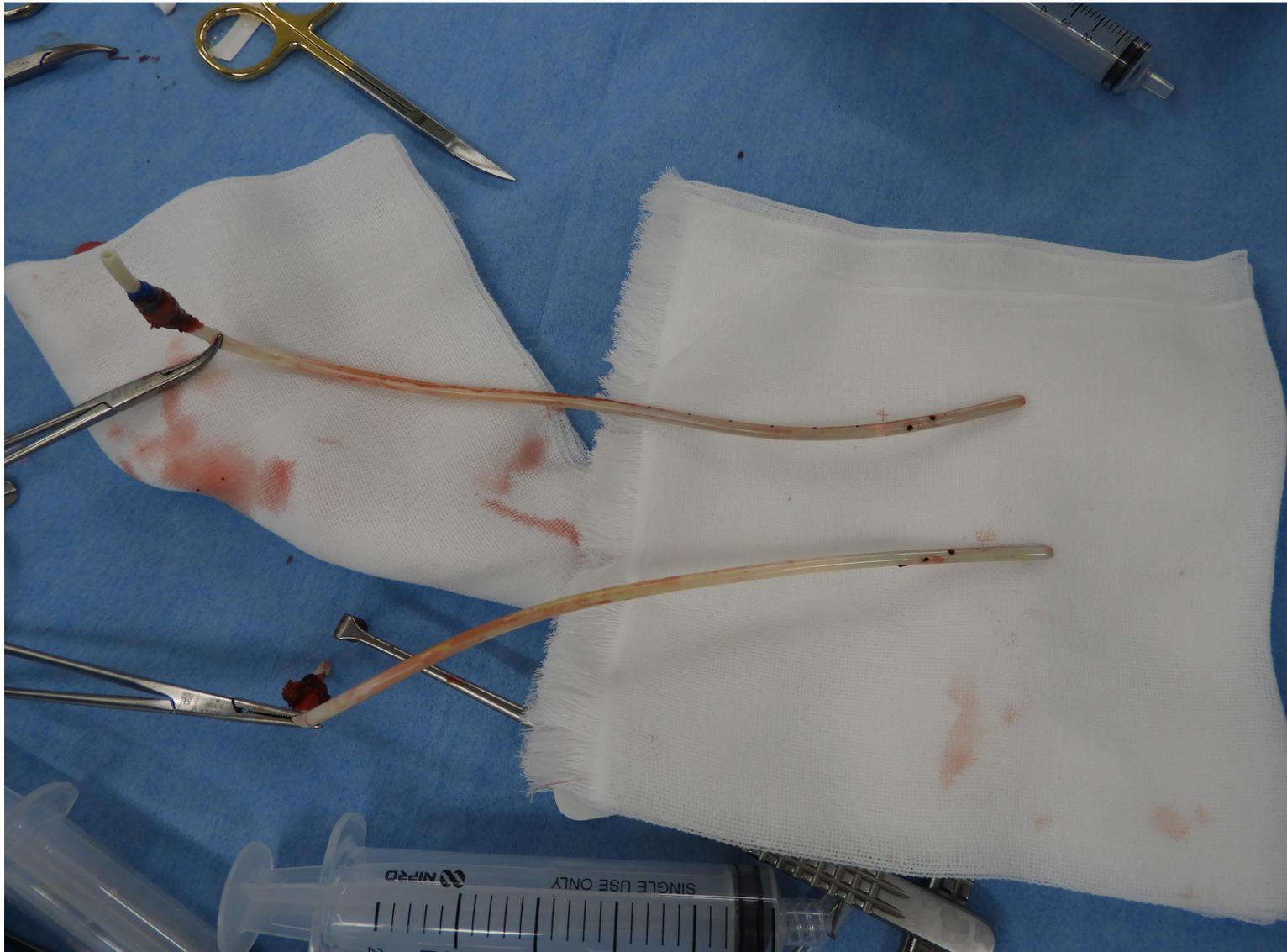
本講演において紹介する症例は臨床症例の一部を紹介するもので
全ての症例が同様な結果を示すわけではありません。

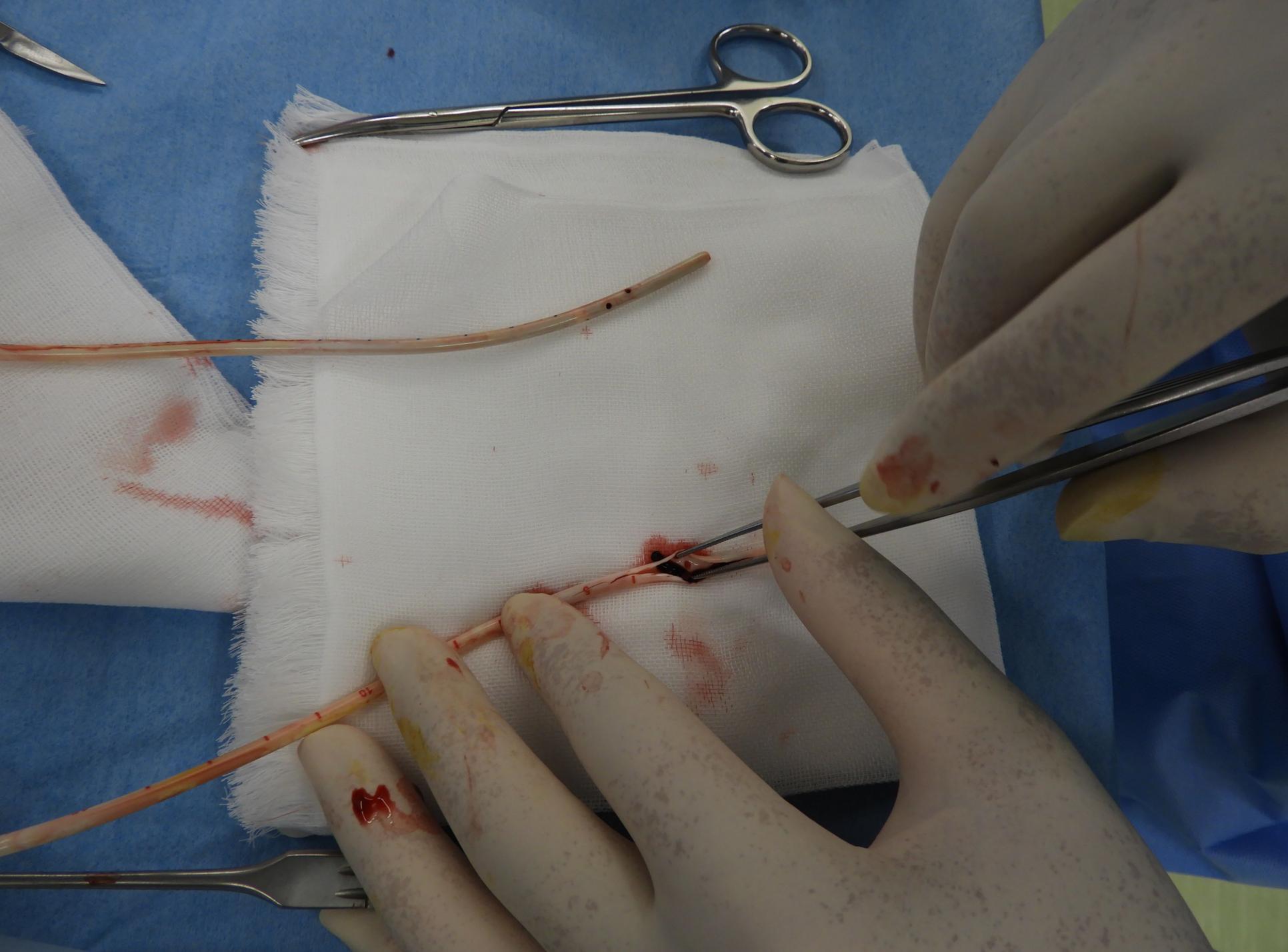
テシオカテーテル®





抜去したカテーテル

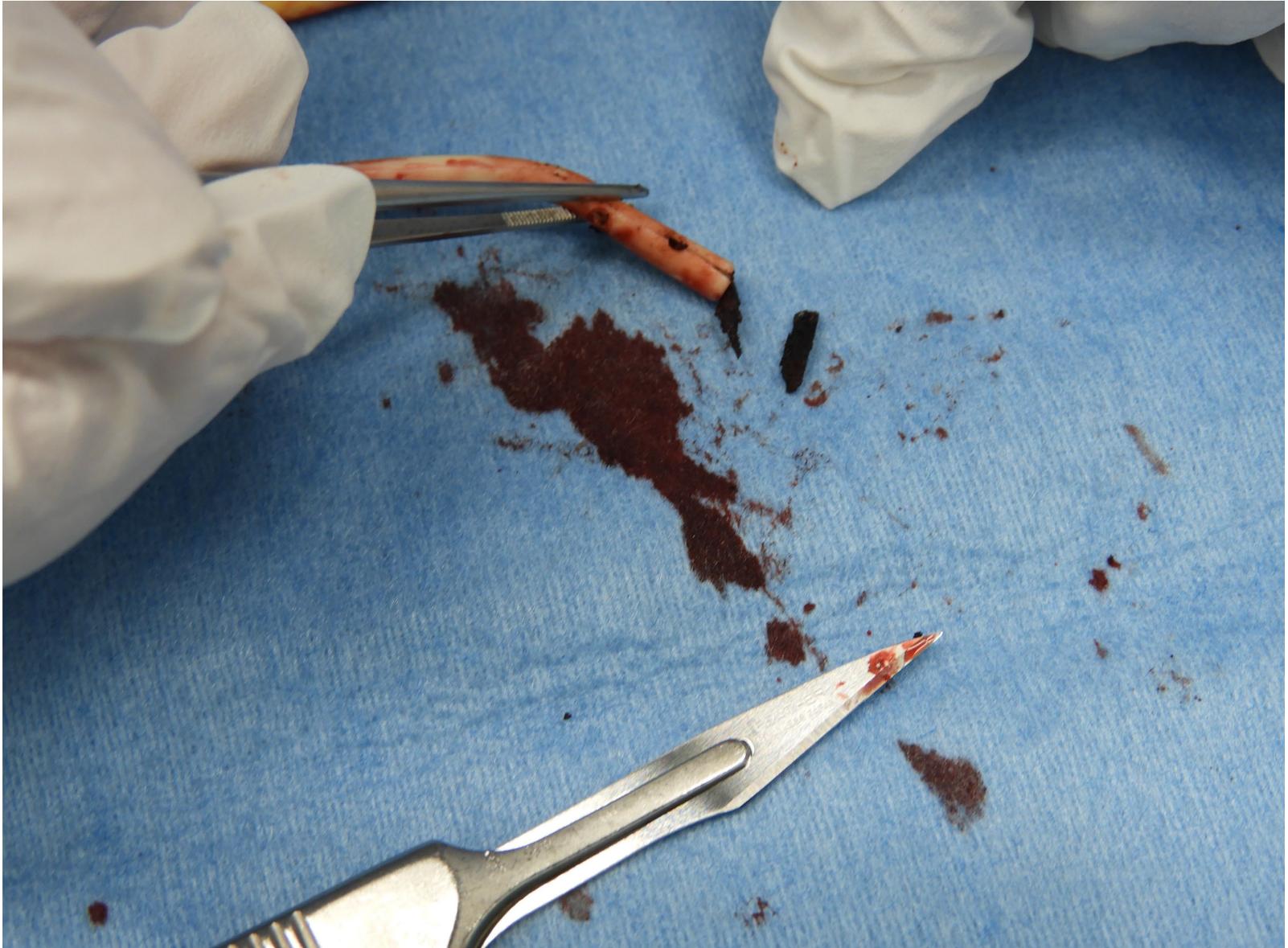




先端血栓



器質化血栓



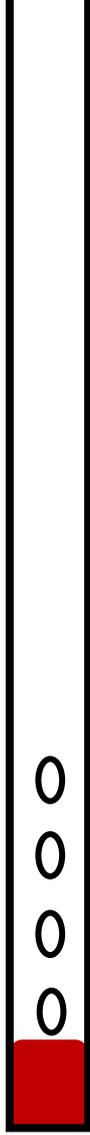


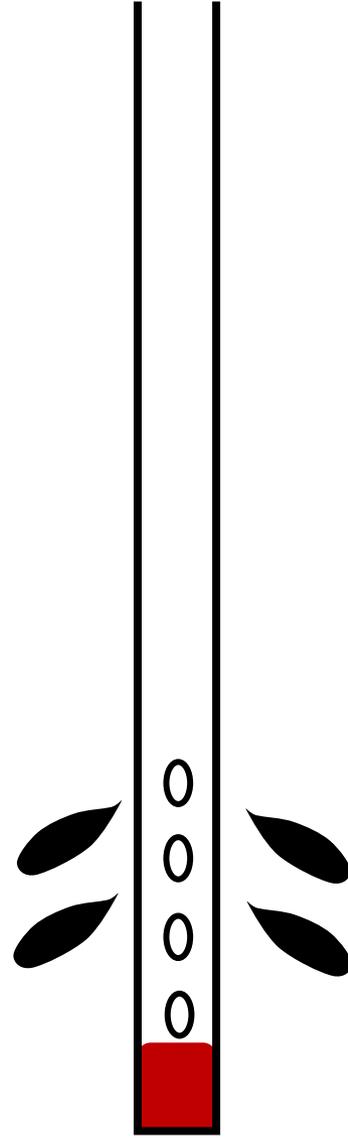


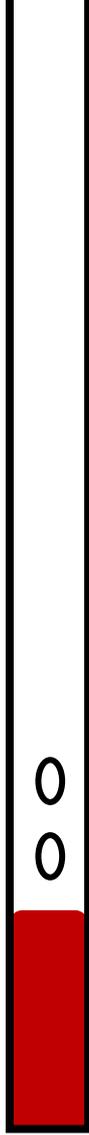
こうなる前に治療が必要

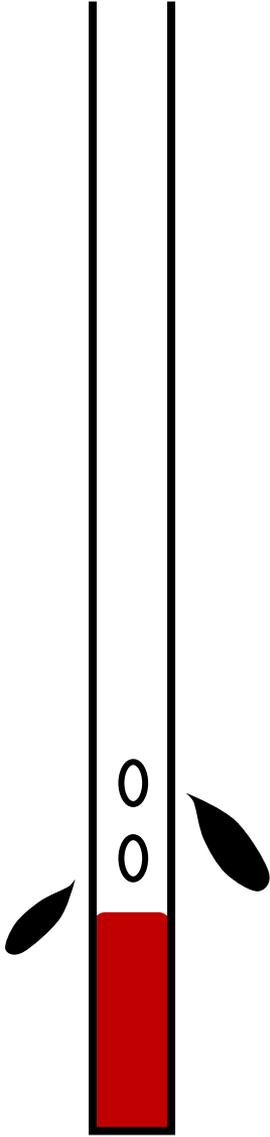
先端血栓が増大すると
側孔のみになる



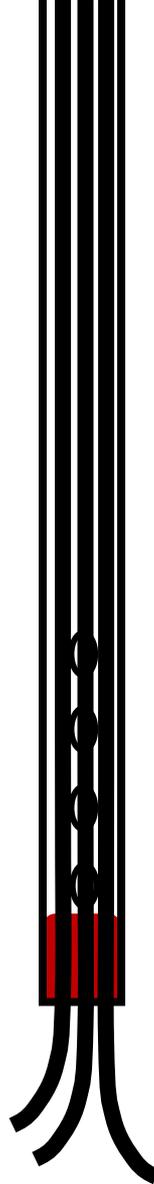


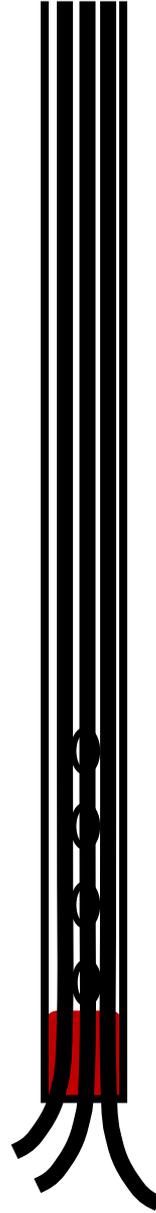






ブラッシングによる血栓除去





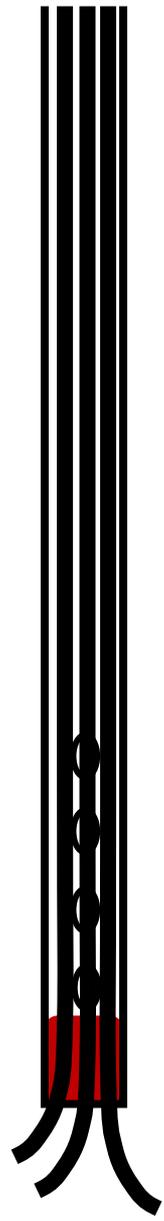


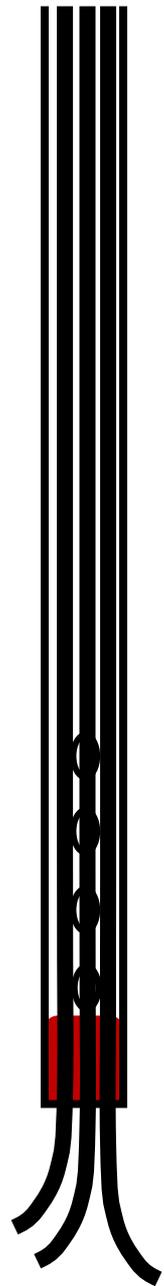


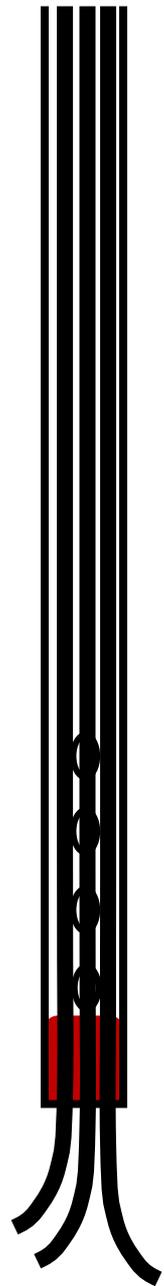


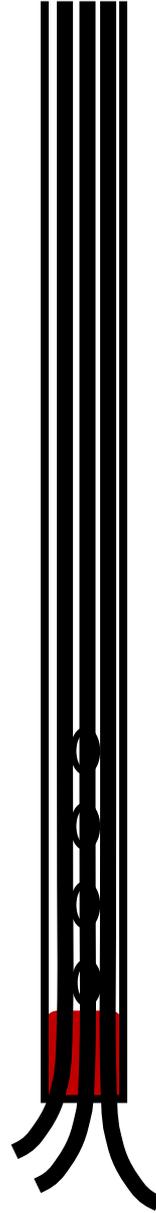












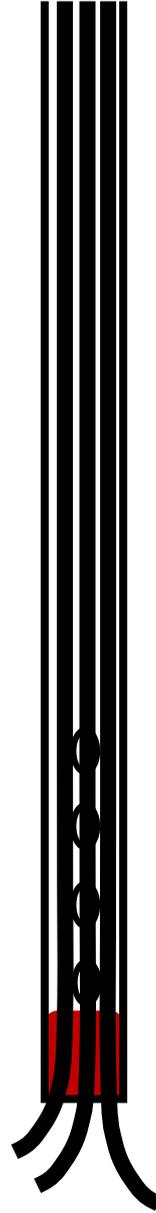




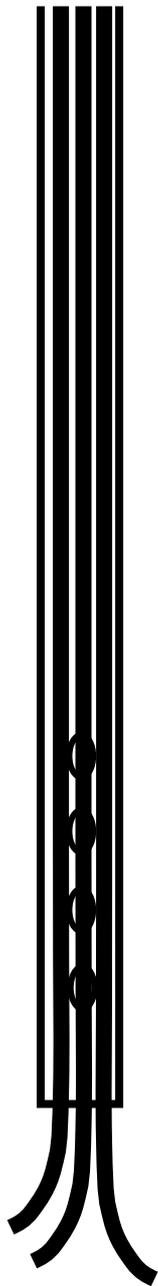


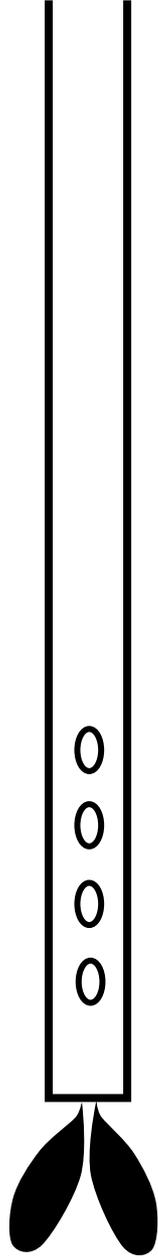






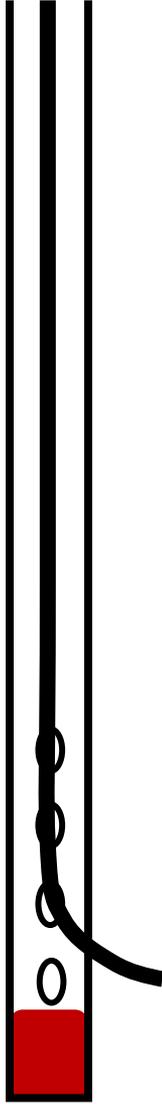


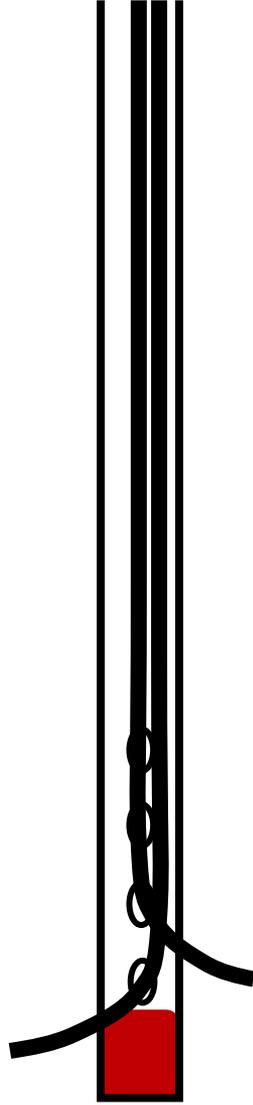


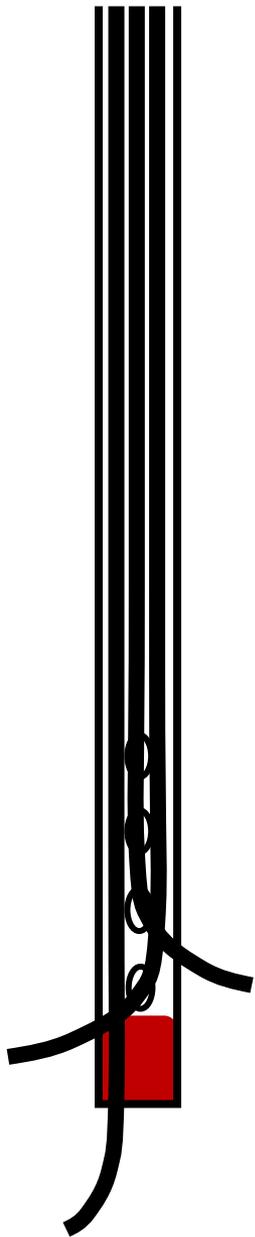


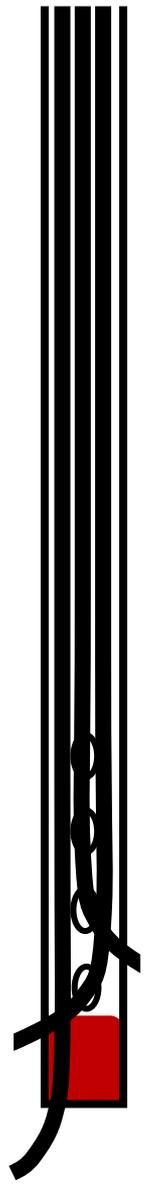
ガイドワイヤー 最初は側孔から出ても良い



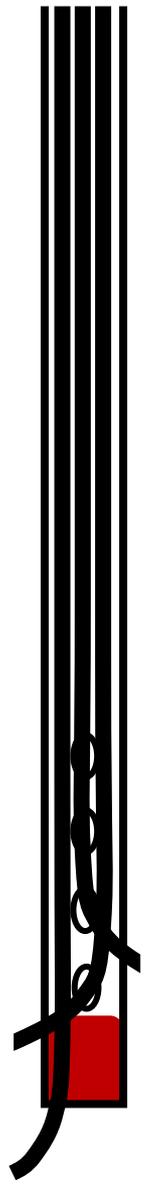


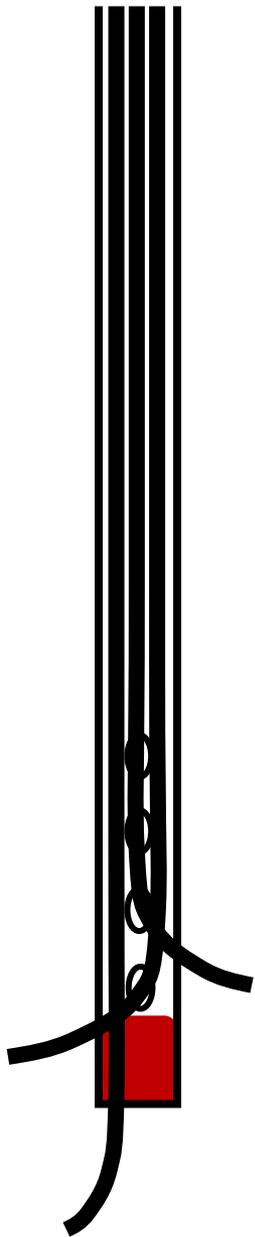


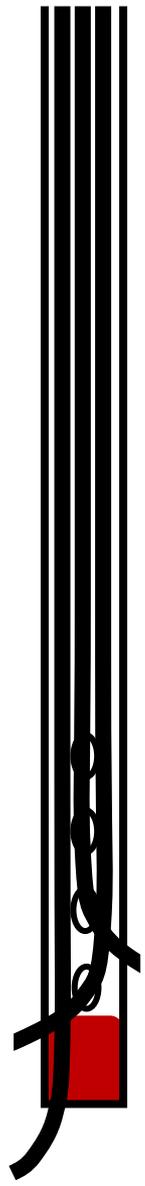




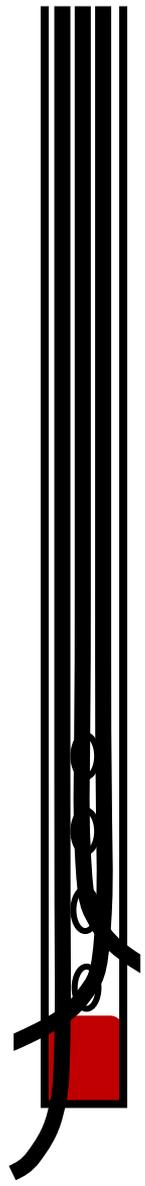


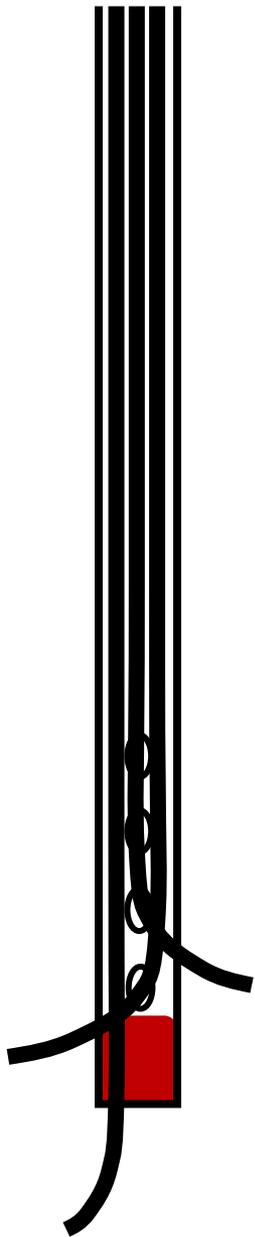


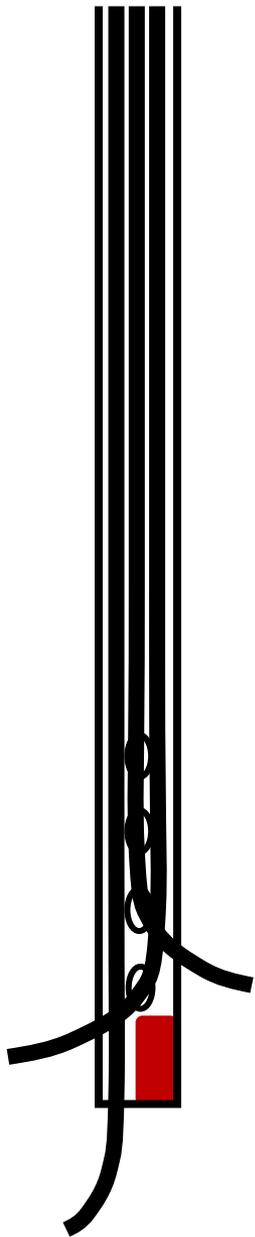




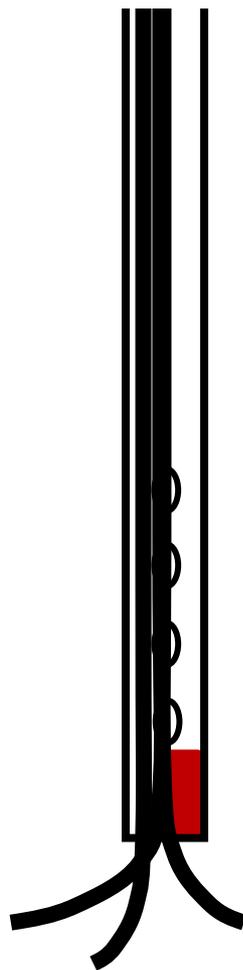








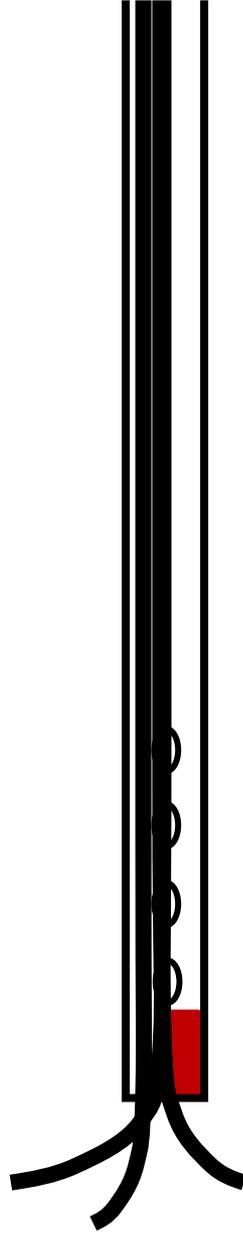
最終的には先端から
3本出したい







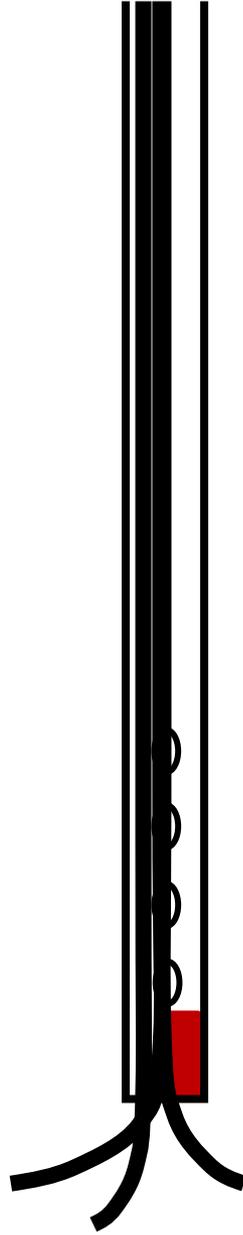


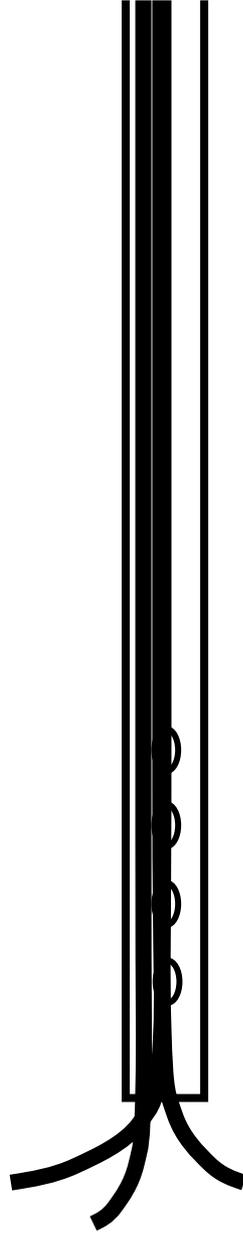


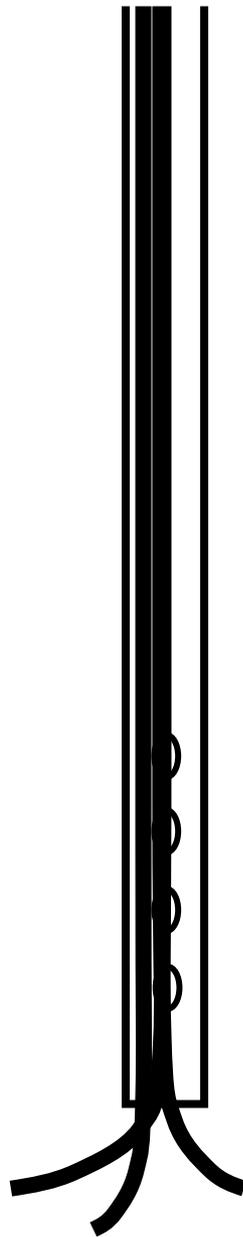




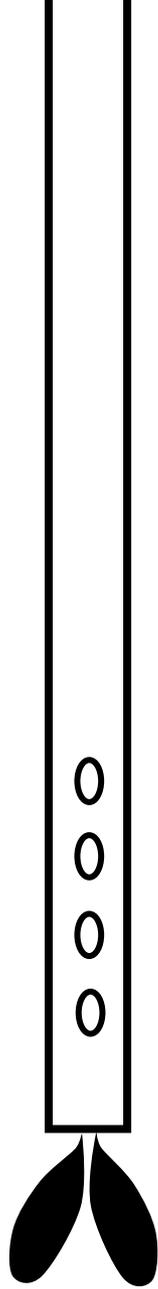




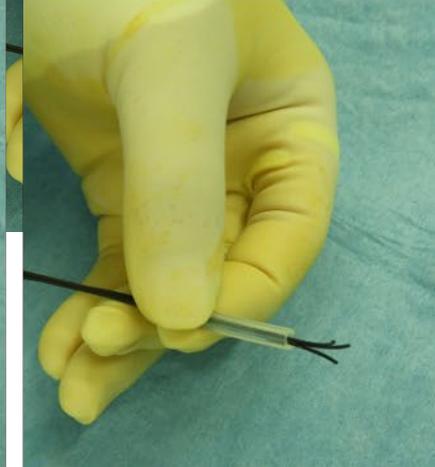
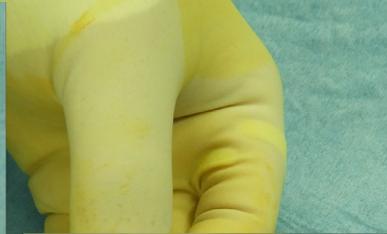
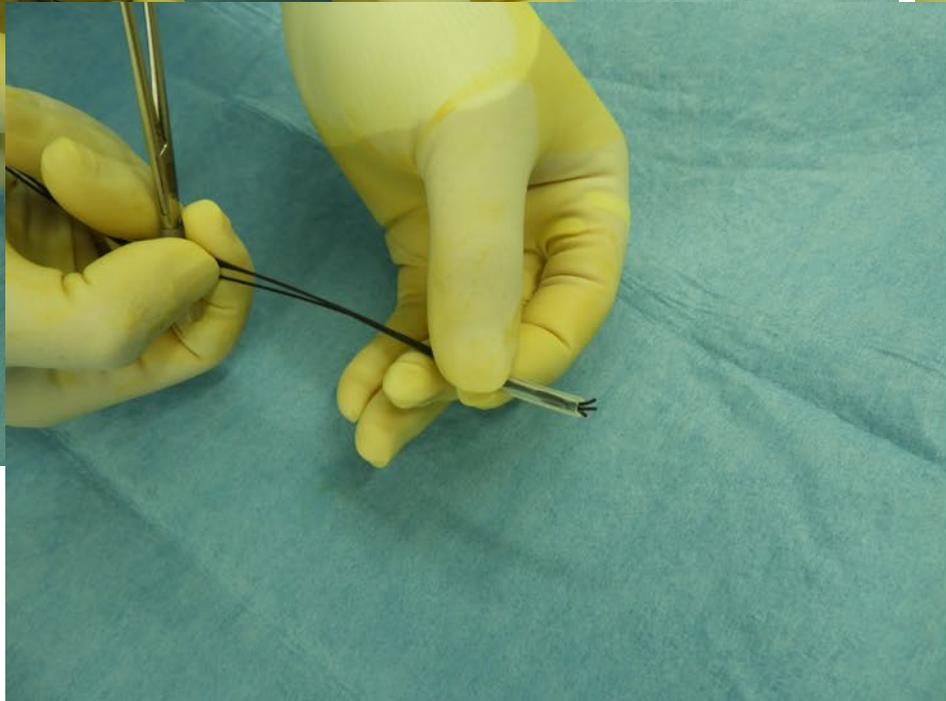


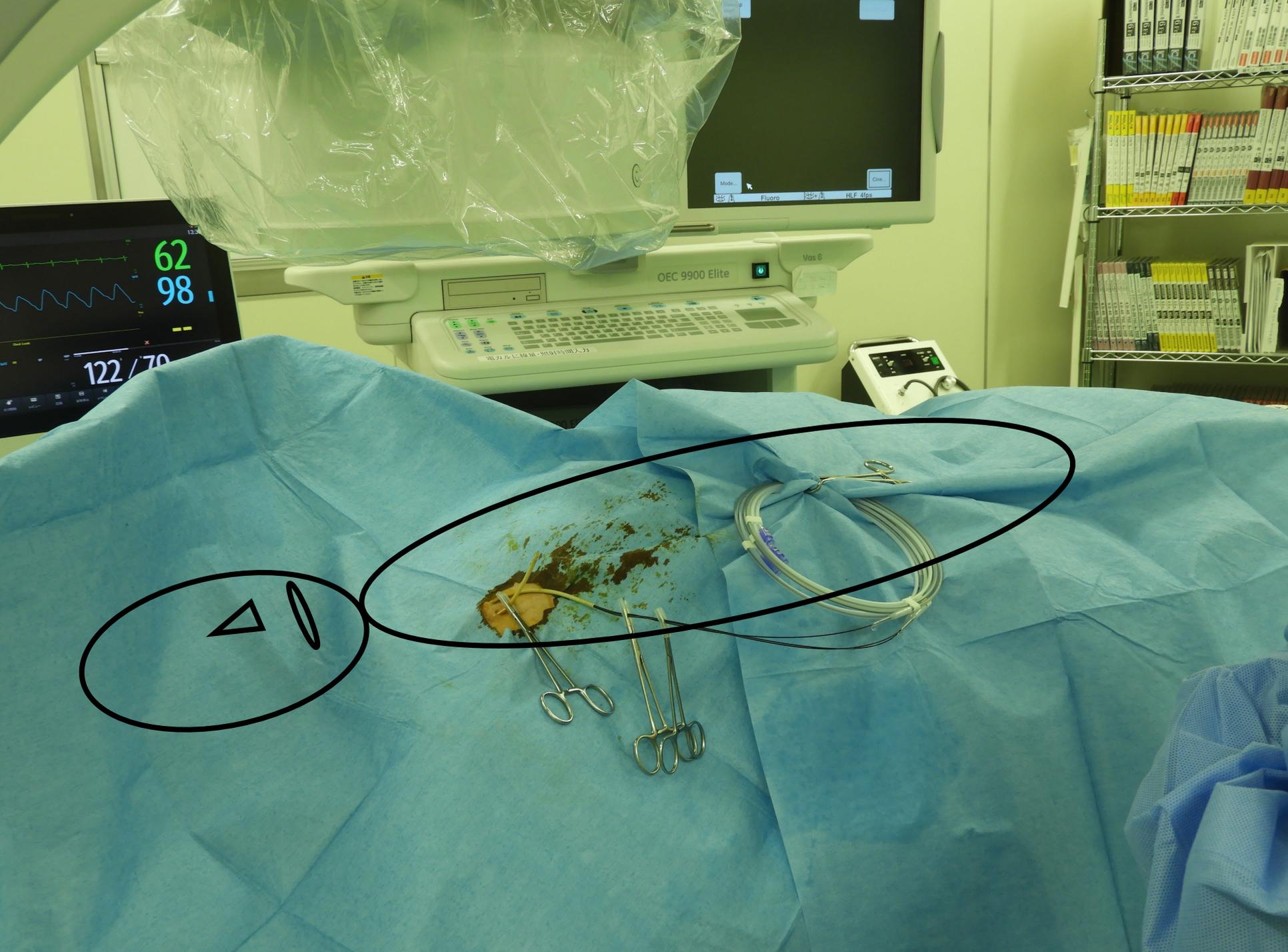


2分の血栓除去を
3回程度繰り返す

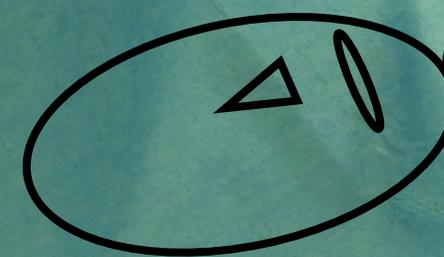


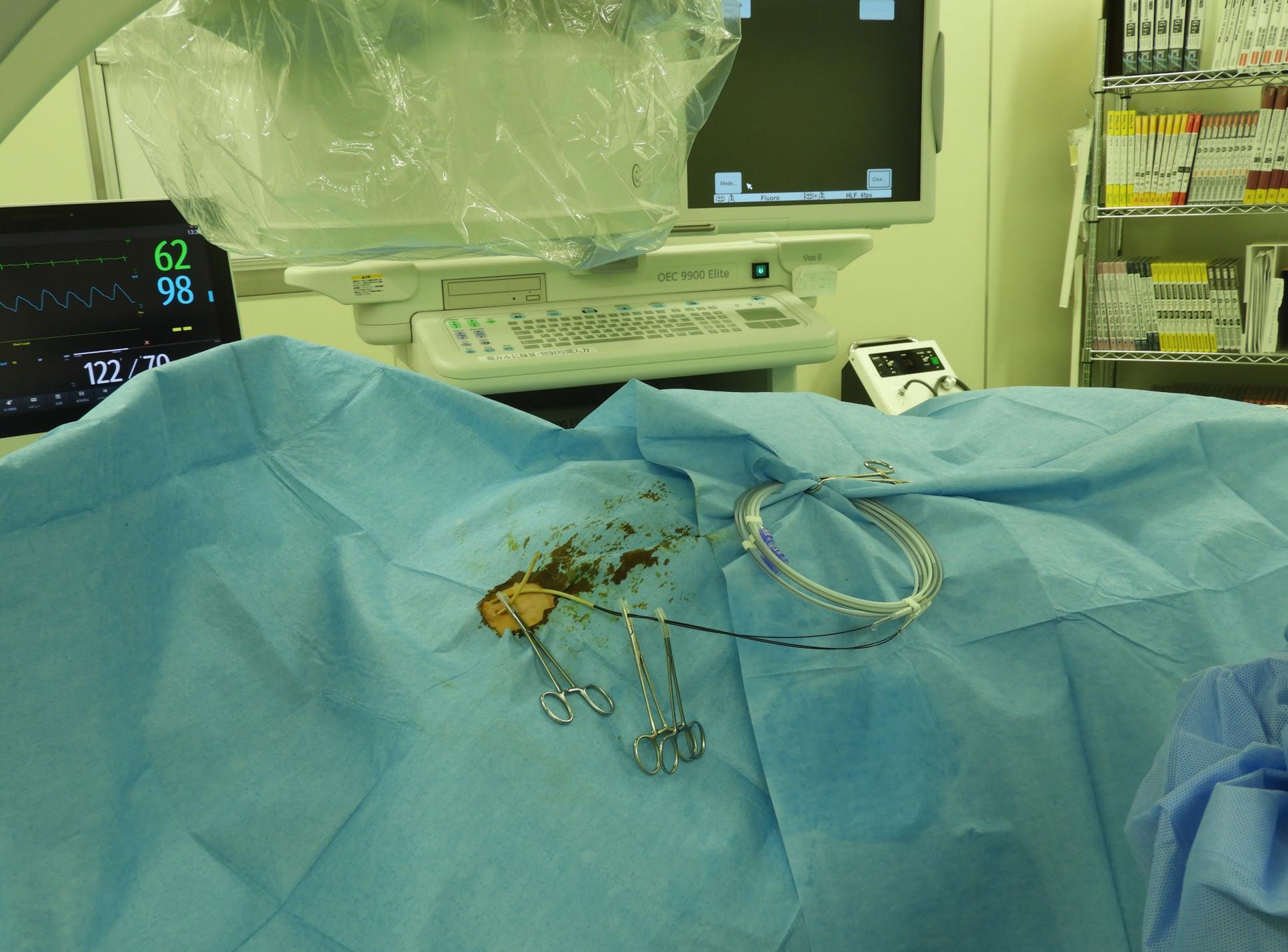




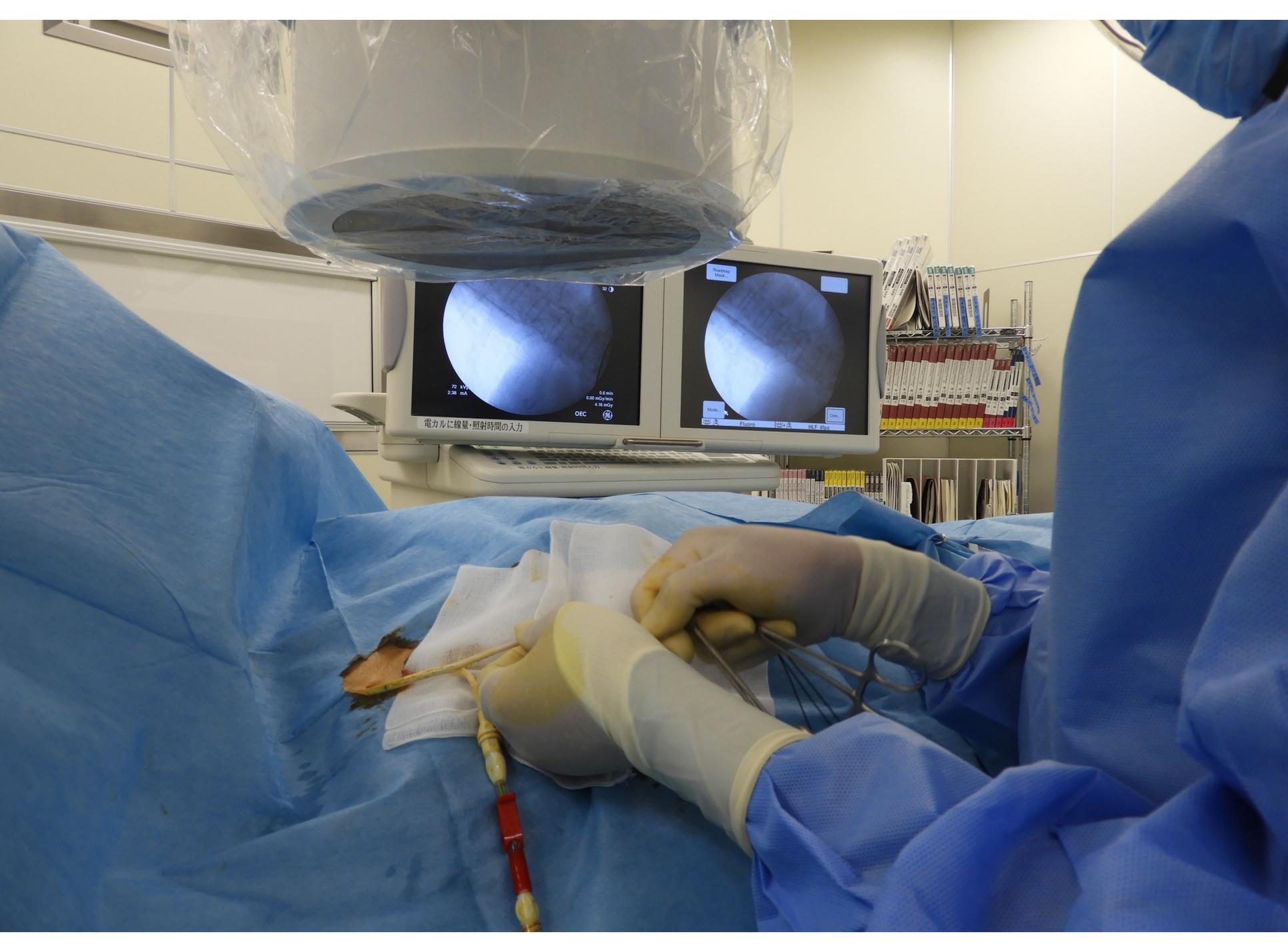


OEC 9900 Elite
Vas B
Fluoro HLF 4fps









電カルに線量・照射時間の入力

OEC

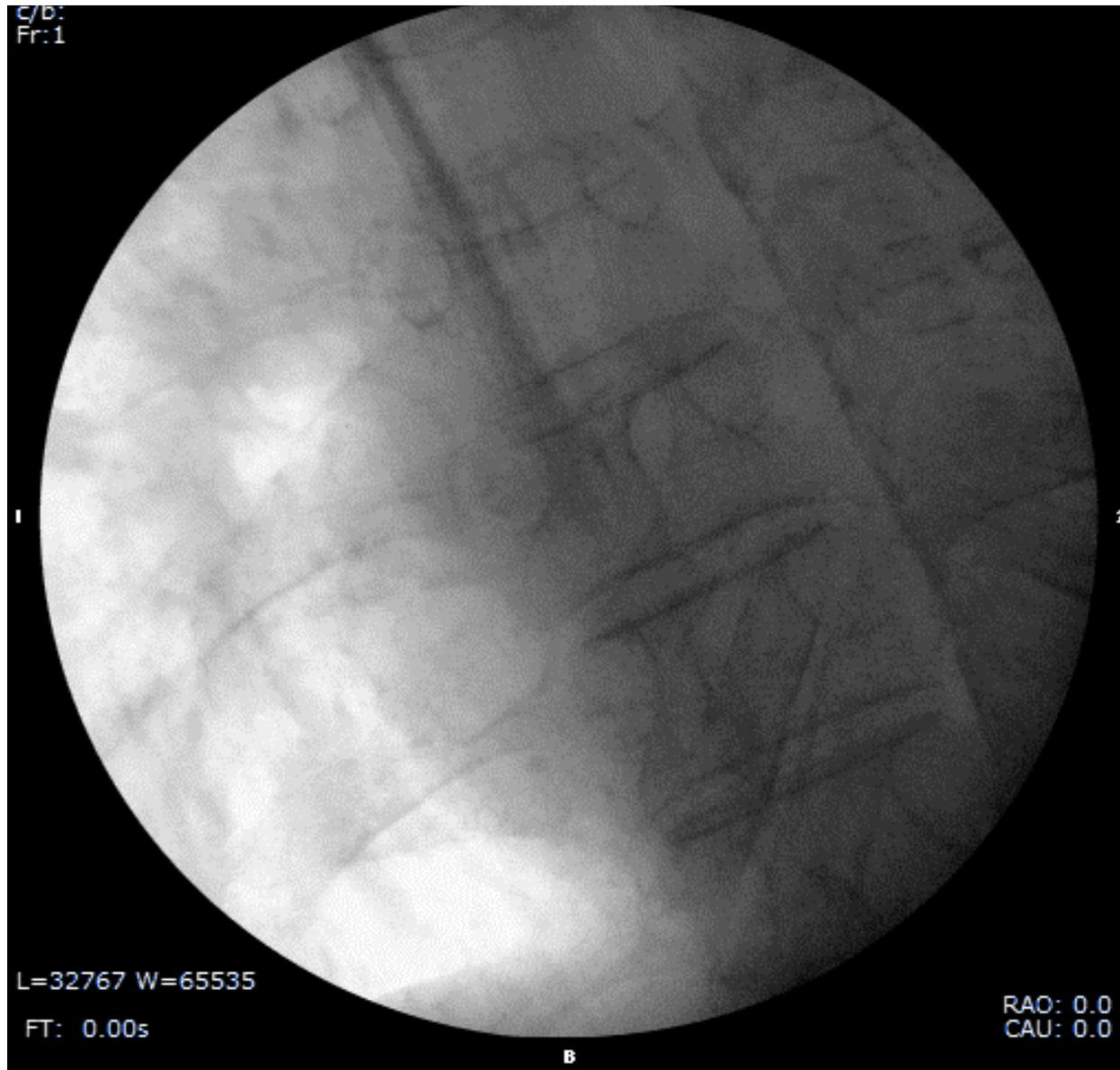
Fluoro

HL # 4728

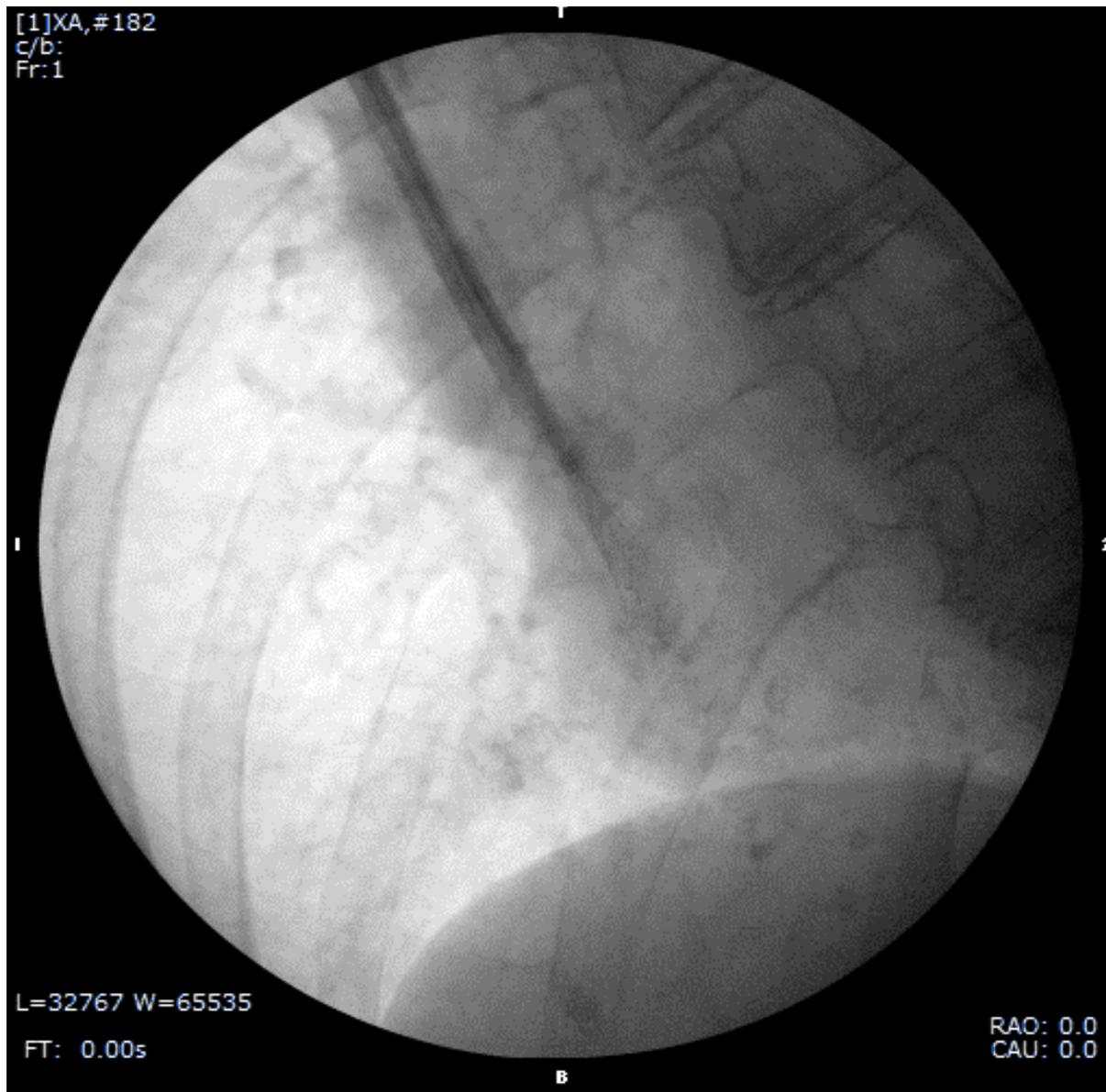
動画 ブラッシング中



動画 ブラッシング中

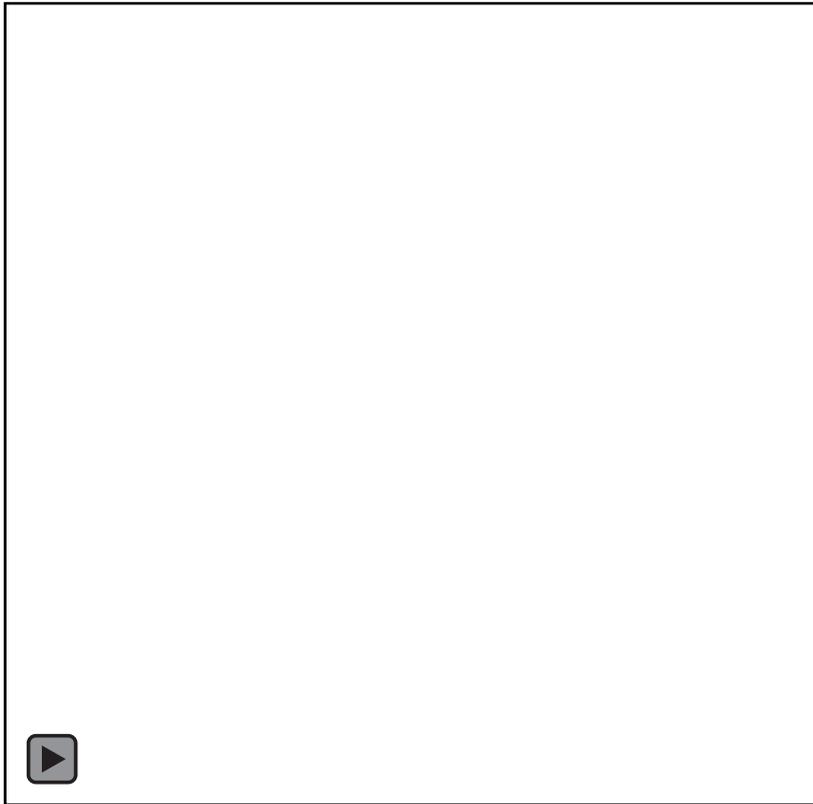


動画 ブラッシング中

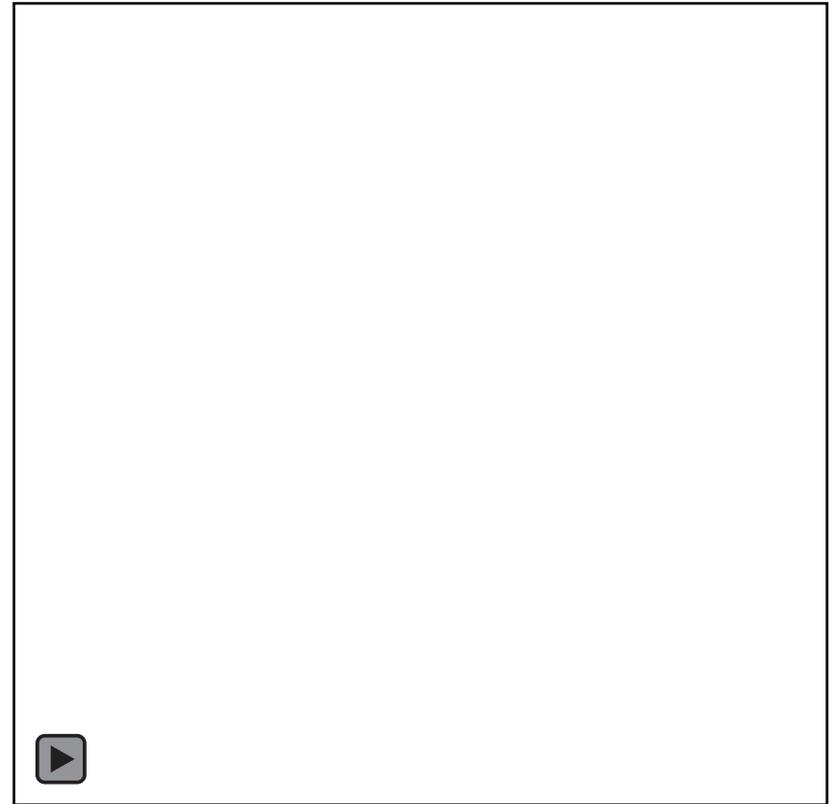


造影動画

血栓除去前



後





先端血栓が出来る前に 透析室にて週3回 ポンピング推奨

透析用 カフ型カテーテル管理手順

ヘパリンシリンジ使用分

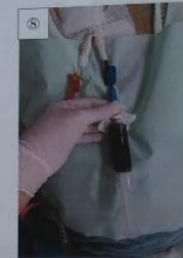
2020/9 Ver. 6.0



医療法人 心豊会
池田バスキュラーアクセス・透析・内科
Access/Neurology/Dialysis

カテーテル側で

- ⑥ 吸引した血液をビニール袋の中に破棄して血栓の有無を確認する。
 - ⑦ 血栓を除去したカテーテルに再度、20mlロックシリンジを接続する。
 - ⑧ カテーテルのクランプを開放し、勢いよく10～20回、血液を10～15mlポンピングして、脱血・返血の状態を確認する。(ポンピング/圧力をかけ血液を出し入れすること。抵抗がない場合20mlは0.5秒程で注入可能。)
 - カテーテルをクランプし、20mlシリンジを外す。
- ※血液を妨げる血栓は、最初の吸引で取り除き、ポンピングによってカテーテル内をクリアにする。



- ⑨ 回路の接続部をカテーテルの接続部の一番奥まで差し込む。
- ⑩ しっかり接続し、ルアーロックをかける。

クランプする



- ⑪ A側(赤)も⑨～⑩と同様の手順で操作を行う。

透析用 カフ型カテーテル管理手順

ヘパリンシリンジ使用分

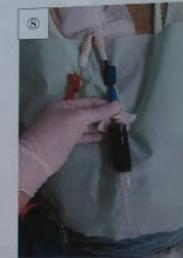
2020/9 Ver. 6.0



医療法人 心豊会
池田バスキュラーアクセス・透析・内科
Access/Neurology/Dialysis

カテーテル側で

- ⑥ 吸引した血液をビニール袋の中に破棄して血栓の有無を確認する。
 - ⑦ 血栓を除去したカテーテルに再度、20mlロックシリンジを接続する。
 - ⑧ カテーテルのクランプを開放し、勢いよく10～20回、血液を10～15mlポンピングして、脱血・返血の状態を確認する。(ポンピング:圧力をかけ血液を出し入れすること。抵抗がない場合20mlは0.5秒程で注入可能。)
 - カテーテルをクランプし、20mlシリンジを外す。
- ※血液を妨げる血栓は、最初の吸引で取り除き、ポンピングによってカテーテル内をクリアにする。



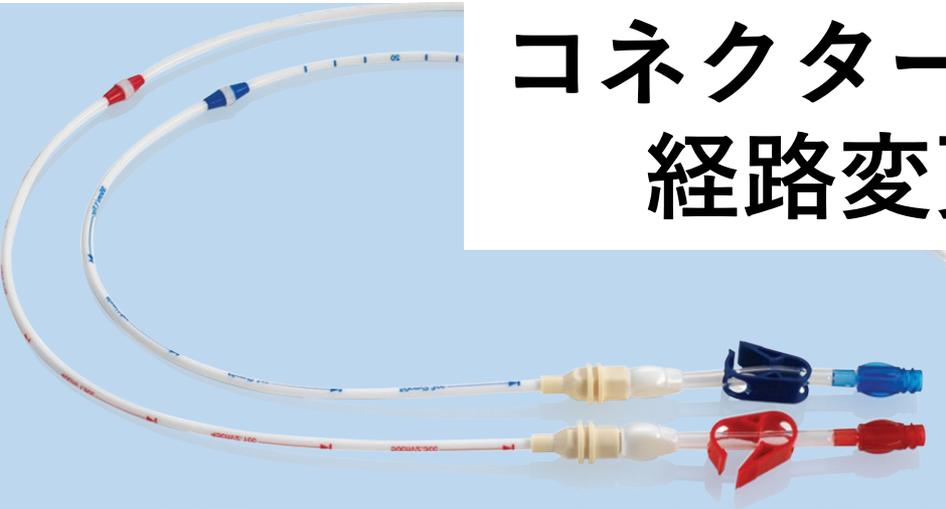
- ⑨ 回路の接続部をカテーテルの接続部の一番奥まで差し込む。
- ⑩ しっかり接続し、ルアーロックをかける。

クランプする



- ⑪ A側(赤)も⑨～⑩と同様の手順で操作を行う。

コネクタを外せると
経路変更も可能











在宅血液透析に応用



長期留置カテーテルのトラブルに対して 入れ替える前にやっていること

池田バスキュラーアクセス透析内科

安田 透、 池田 潔